

するのか

- (3) 保険料の改定は検討するのか
- (4) 保険料の収納率90%を目標としているが、それで国保会計の運営ができるのか

4 JR名松線、家城から伊勢奥津間の廃線問題について

- (1) JR東海と県ならびに津市の三者協議はいつごろから開始す

るのか

- (2) 利用客の安全、安心を重視してバス輸送が一番現実的な選択とJR東海は譲らないが、復旧をどのように説得するのか
- (3) 松田市長は、将来のまちづくりの基盤として不可欠、財政負担も辞さない姿勢であるが、県も同一見解なのか、また、財政

負担はどの程度見込んでいるのか

問 名松線は地域にとって非常に大切な財産、早期に全線復旧を

答 復旧に向けて、市としてもある程度の負担は必要であると思っており、県も含めて話し合い、全線復旧に向けて全力を傾けてやらせていただきたい。

こ すげ まさ し
小菅 雅司

津 和 会

●一般質問●

1 市長の所信表明より「住みやすさに磨きをかける」ことが本市のまちづくりの在り方である、として示された「住みやすさに磨きをかける」ための5つの重点事業について

- (1) 「子どもに優しいまちづくりを推進する」～市独自の取組みとして、誕生から中学校卒業までの子どもたちの、成長に応じた途切れのない子育て支援に取組んでいく～ ことについて
 - ア 障がいをもつ子どもたちの療育、特別支援教育の現状と取組みは
 - イ 不登校、ひきこもりの子どもたちの現状と取組みは
 - ウ 就学前も含めた外国につながる子どもたちの現状と取組みは
 - エ すべての子どもの育ちに寄り添える「子ども総合支援室」の役割の強化を
- (2) 「救急医療への取組み」～二次救急輪番病院への医師派遣による救急患者の受入体制の強化、および三重大学医学部附属病院との間の「画像遠隔医療システム」の整備～ について
 - ア いわゆるたらい回しはなくなるのか

- (3) 「まちの核である中心市街地への取組み」～津市全体の活力アップは、中心市街地の再生にかかっている。中心市街地の活性化は、地域全体を交流空間、居住空間としてとらえ、新しい息吹を吹き込む～ ことについて

- ア 具体的にどのように進めるのか
- (ア) 津市の玄関口である津駅周辺は
- (イ) 津市の顔である大門・丸之内地区は

問 文教都市という柱を掲げ、「学びの場」としての活性化を

答 学びの場だけでなく面でもとらえる部分が要る。新都心軸としていろいろな要素が中心市街地にはあり、民間の方も含めて計画に参加いただけるベースづくりが必要。

- イ 根本的な発想の転換が必要ではないか
- (4) 「地域かがやきへの取組み」～それぞれの地域の特性や資源を活かし、個性が輝く地域づくりを進めるとともに、熱い思い

の市民のみなさんと協働して、まちづくりを進める。また、これらの事業を進めるにあたり、各総合支所が地域づくりの拠点として中心的な役割を果たす～ について

- ア 「津eネットショップ」の現状と来年度の取組みは
- イ ささまざまな市で市民の自治についての取組みがなされているが、自治基本条例の制定を見据え、住民自治協議会推進モデル事業に取組んでいる津市では、どのような市民の自治を目指していくのか
- ウ 各総合支所が地域づくりの拠点として中心的な役割を果たす、とあるが、具体的にはどのような役割を担うのか
- (5) 「雇用の場の確保への取組み」～企業誘致や、大学と行政が連携した企業育成による新たな雇用創出～ について
 - ア 現在の津市の経済状況と今後の見通しおよび取組みは
 - イ 新たな雇用創出のための企業誘致や企業育成には何が重要だ

▶ 文教都市という柱を掲げ、中心市街地の活性化を（大門・東丸之内地区）

